

にんにく卵黄 「青春の元」だより

2011年

(9 月 号)

発行 株式会社パワーボール

『 仲秋や 花園のもの みな高し 』

山口 青邨

8月は、核廃絶、平和を希求する月。では9月は…?一人ひとりの受け止め方は違うと思いますが、三つの事から「心を癒し、感謝の念を持つ月」としましょう。

さてその三つとは、熱中症で気をもませた残暑も少し和らぎ、秋の風情が感じられるようになりました。次に、9月12日(月)には物静かな安らぎを心根に感じ、野に咲く草花の桔梗や薄に心を癒されながら、みんなで引き合う綱に明日の希望を託しつつ、元気をもらう仲秋の名月。

三つ目は、9月19日(月)には「敬老の日」を迎えます。この日は「長年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と定められています。この事から、思い出したくもないあの戦争から66年

が経った今、あれからの難儀苦難を乗り越えて世界の大国になり、今があるのはこれまでの世の先輩たちの努力によることに感謝し、老人を敬い、心癒す日にしてほしいものだと思います。

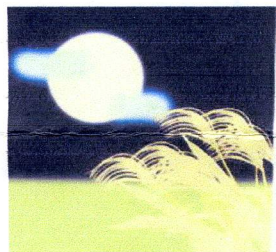
さあ！この月も「青春の元」をご愛用いただき、秋の夜長を存分に心に留め、心と体の安らぎを感じ取って過ごされますよう従業員一同心から祈念申し上げます。



9月の花「桔梗」



9月の花「芙蓉」



「仲秋の名月」

創作『アリシン君 (にんにく) とレシチン君 (卵黄) 物語』

アリシン君の元々の体は「にんにく」、レシチン君の元は「卵」。中でもレシチン君がたくさん含まれているのは「卵黄」でした。

さて、ここからが二人の協力によって生まれてくる強力パワーのお話です。それは人間の知恵によって生まれてきたもの。それを日本人は「にんにく卵黄」と呼ぶようになりました。つまりアリシン君の持っている力とレシチン君の生まれつきの素晴らしい力が合体してできる強力パワーがそこに生まれたのでした。

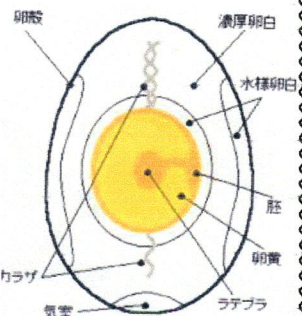
その歴史は、遠くエジプトのピラミッド時代に遡ります。この「にんにく卵黄」を本社の『青春の元』と同じように保存食としたり、力仕事をする時のパワーアップの素として飲用し、ピラミッド建設を成し遂げたと言われていました。



完全手作り にんにく卵黄

また、日本で語り継がれる南の国薩摩の人々が、精力的に国の改革に力を注いだ素も、この「にんにく卵黄」パワーではなかったかとも語られています。

こうして、二人の力が結び合いながら、その力は2倍にも3倍にもなって強精力を生みだし、アリシン君とレシチン君との友情が生まれ、二人の強い絆を深めながら、この物語は「株式会社パワーボール」へと受け継がれていくのです。さようなら



卵のしくみ

(文責 顧問 M.T)